

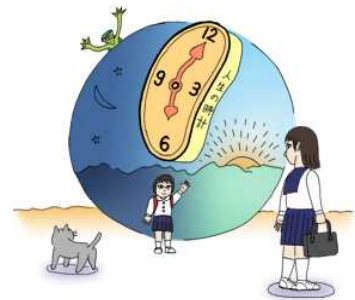
新任式・始業式が行われました

4月7日（金）に、松井田北中から13名の生徒を迎え、新任式・始業式が行われました。私にとっては初めての松井田中学校の生徒との出会いでしたが、真剣なまなざしで話を聞いてくれる態度に感動しました。令和5年度のスタートにあたり、目標をしっかりと、一日一日を大切にしてもらいたいという思いから次のような話をしました。



人間の一生を1日に例えるという考え方があります。そのよい例は「人生時計」です。「人生時計」とは、今の自分の年齢を1日24時間の時刻に当てはめてみるというアイデアです。

さて、中学生として生きている皆さんは1日の何時頃を生きていることになるでしょうか？計算すると、午前4時か5時頃になります。まだ爆睡の人もいるかもしれませんし、やっと起きる頃の人もあるかもしれません。しかし、朝の4時か5時では、その日がどのような日になるかは誰にもわかりません。そのように考えると、皆さんの人生は、これから誰と出会い、何があるのか、どのようになるかは全てこれからです。今の自分にできること、知っていることがこれからの人生を変えてしまうことなど絶対にありません。ですから、うまくいかないことがあっても焦る必要はありません。将来をいたずらに不安に思うこともありません。ただ、何の目標をもたずに生活していると、時間はあっという間に過ぎていきます。時間には限りがあり、逆戻りもできません。そうならないためには、目標をしっかりと、「今日1日という人生の部品」を大切にしてください。「アメリカン・ビューティー」という映画の中の台詞にこんな言葉があります。



Today is the first day of the rest of your life.

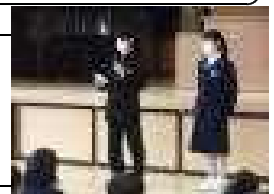
「今日という日は、残りの人生の最初の日」

一日一日を大切にしたいくなる言葉だと思いませんか？一日一日を大切にしていって令和5年度をぜひとも良い一年にしましょう。

また、式の後には、松井田中学校と松井田北中学校の両生徒会長から挨拶がありました。今年度の前期の生徒会は会長二人体制となります。

この春休みは新学期に向けて有意義な時間にするのができたでしょうか。まずはみなさん、進級おめでとうございます。新3年生のみなさんは最上級生となり、この学校のリーダーとして松井田中学校を引っ張っていく番です。新2年生のみなさんは後輩ができて、先輩として後輩に背中を見せるという立場になります。頼られる先輩になれるよう責任と自覚を持って過ごしましょう。さて、今年度から旧松井田北中学校の生徒も加わり、新体制での学校生活となります。コミュニケーションをとって仲を深め、新しい仲間と最高の思い出を作っていきましょう。（松井田中学校生徒会長）

みなさんこんにちは。私は北中で生徒会長をやっていました。私はまだ松中のことがあまりよく分からず、不慣れなことも多いと思います。ですが、みなさんと仲を深め、精一杯頑張っていきますので、よろしく願います。（旧松井田北中学校生徒会長）



入学おめでとうございます

4月7日の午後には、新たに57名の新生を迎え入れ、入学式が行われました。入学式のための体育館会場準備は3年生が、1年生の教室整備や教科書の運搬は2年生がたいへん手際よくやってくれました。全校で新生を迎え入れる準備ができたことが素晴らしいと思います。

入学式では緊張気味だった新生でしたが、担任の呼名に対する返事や立ち振る舞いはとても立派で、中学校での今後の活躍が楽しみになりました。



校長 式辞（抜粋）

私たちが一生で出会える人の数は、何人くらいいると思いますか。ある統計によると、人が一生で会う人の数は「およそ三万人」といわれています。人生を「八十年」とした場合、一生はおよそ「三万日」です。つまり、1日1人は、誰かと会う計算になります。これを多い少ないと感じるかは人によってちがいます。ただ、1つ言えることは出会う人は「限られている」ということです。世界には今、八十億人の人が暮らしています。八十億人もいるにもかかわらず、出会えるのは三万人です。その確率は1パーセントどころではありません。「0.0004パーセント」です。その中でも学校などで近い関係になる人は3000人、親しい会話ができる人は300人、友達と呼べる人は30人。親友は3人というデータもあります。こうしたことを知ると、今日ここにいる人たちとの出会いがいかに貴重であるかがわかるでしょう。

これから皆さんは中学校生活でたくさんの人と出会うはずです。松井田小学校出身の人、西横野小学校出身の人、細野小学校出身の人、新しい先生、来週からは二、三年生の先輩との出会いも待っています。

誰かと出会ったら「三万人のうちの1人と出会った」と考えてみてください。自然と感謝の気持ちが湧いて、優しく丁寧に接したくなるはずです。そして、どんな人と出会っても「貴重な出会い」と思って感謝することです。人との出会いを大切にすることは、自分を大切にすることでもあります。「今日からの松井田中学校での出会いを大切にしてください」これが中学校の入学に際し、私からみなさんに伝えたいことです。



PTA会長 ○○ ○○様 祝辞（抜粋）

この先、中学生は大変だと感じることもあるかもしれませんが。皆さんは、大変という言葉にどんなイメージを持っていますか。辛い、きつい、難しいなどというネガティブなイメージを持つことが多いかもしれません。でも、少し見方を変えると違った意味になります。それは、「大変」を漢字で書くと「大きく変わる」と書きます。本校は、今年度二度目の統合で再び大きく変わります。皆さんの学校生活も初めての経験がたくさんあり、大きく変わります。皆さんの心の中でも大変だと感じることもあると思います。そんな時は自分を大きく変えるチャンスだと捉えてください。その大変を乗り越えられた時、成長した新しい自分に出会えるでしょう。皆さんには見方を変えて大変を楽しんでほしいと思います。中学校での皆さんの活躍を期待しています。



新生代表 ○○ ○○さん あいさつ（抜粋）

私たちは中学校に入学するこの日を楽しみに待っていました。中学生となった今、勉強はもちろん、部活動や学校行事に積極的に取り組んでいこうと思います。この中学校で、友達と友情を深め、大切なことをしっかりと学び、有意義に生活したいと思っています。



す。苦しいとき、困ったときには、先生方や先輩のみなさまのお力をお借りすることがあるかもしれません。その時には、どうかよろしくお願ひいたします。私たちは初心を忘れずに、松井田中学校の生徒として、自信と誇りを持ち、この三年間、何事にもあきらめず、最後まで一生懸命取り組みたいと思います。